

# 4～5さい児むけ おススメ絵本リスト



家族以外の人たちとの関わりが増え、  
自分の思いを誰かに伝えたり、  
相手の気持ちを考えて行動したりする場面も増える時期。  
いろいろな気持ちが湧いて来るとともに、  
興味の幅も広がっていきます。  
そんな心に寄り添ってくれる絵本や、  
好奇心をくすぐる本などをテーマ別に紹介します。

帯広市図書館

2025年11月改訂

# 帯広市図書館ってこんなところですよ

おはなし室



【おはなし会】毎週土曜日

絵本の読み聞かせや紙芝居など楽しいことがいっぱいです。

※時間は図書館 HP・SNSでご確認ください。

こどもの本の森



幼児向けの絵本や紙芝居がたくさんあります。

布の絵本



布製だからふんわりと優しい手触りです。  
ボランティアサークル「帯広図書館友の会」の方々が製作した作品。

授乳室



「こどもの本の森」の中にあります。  
戸に鍵がかけられるので、授乳やおむつ交換など安心してご利用いただけます。

幼児用トイレ



「こどもの本の森」の中にあります。  
幼児にも使いやすい小さなトイレです。

3階  
喫茶  
コーナー  
&  
休憩  
ラウンジ



お子さまといっしょに読書の合間の休憩などにご利用ください。



「かいじゅうたちの  
いるところ」

モーリス・センダック／作  
じんぐうてるお／訳  
富山房  
(Eセンダ)

ある晩、いたずらっ子のマックスが大あばれ。とうとう寝室に放り込まれると、いつしかそこは森になりました。



「もりのなか」

マリー・ホール・エッツ／文・絵  
まさきりこ／訳  
福音館書店  
(Eエッツ)

紙の帽子にラッパをもって、森の中をお散歩する男の子。そのうちいるんな動物が散歩に加わって…。



「すてきな  
三にんぐみ」

トミー・アンゲラー／作  
いまえよしも／訳  
偕成社  
(Eウング)

お宝を奪う、ちょっぴり不気味でこわい3人組の大どろぼうが、ある女の子のひとことで一転…？



「いたずら きかんしゃ  
ちゅうちゅう」

バージニア・リー・バートン／文・絵  
むらおかはなこ／訳  
福音館書店  
(Eバトン)

機関車のちゅうちゅうは「重たい客車はもういや」と逃げ出しました。ダイナミックに描かれた大冒険のお話。



「めっきらもっきら  
どおんどん」

長谷川摂子／作  
ふりやなな／画  
福音館書店  
(Eフリヤ)

誰も遊んでくれないから、めちゃくちゃな歌を歌ったかんだ。するとびっくり!おかしな3人組がやってきた。



「はじめての  
おつかい」

筒井頼子／作  
林明子／絵  
福音館書店  
(Eハヤシ)

ママに頼まれて、はじめてひとりで牛乳を買いにでかけたみいちゃん。ドキドキいっぱいの大冒険。



「ぶたのたね」

佐々木マキ／作  
絵本館  
(Eササキ)

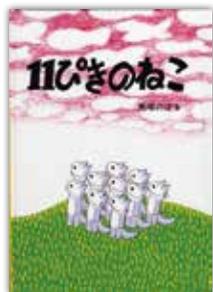
走るのが遅いオオカミはブタにからかわれてばかり。くやしくて、どうしてもブタをつかまえないオオカミは…。



「ちくわのわーさん」

岡田よしたか／作  
ブロンズ新社  
(Eオカダ)

口笛を吹いて歩くわーさん。スパゲティーとマカロニの兄弟と遊んだり、ドーナツを真似てみたり、道草ばかりしていますが…。



「11ぴきのねこ」

馬場のぼる／作  
こぐま社  
(Eババ)

はらべこな猫たちが大きな魚をつかまえようと、ニャゴニャゴ大格闘！最後はあっと驚く展開に!?



「ピッツアぼうや」

ウィリアム・スタイク／作  
木坂涼／訳  
好学社  
(Eスタイ)

外は雨。たいくつでつまらないピート。そこでおとうさんは、ピートでピッツアを作ろうと思いつきました。



「おきにりのしろいドレスをきてレストランにいきました」

渡辺朋／作  
高島那生／絵  
童心社  
(Eタカバ)

お気に入りの白いドレスにケチャップがついちゃった。ががががーん！女の子のショックが伝わって、みんな大騒ぎ！



「わりばしワリー もういいよ」

シゲタサヤカ／作・絵  
鈴木出版  
(Eシゲタ)

ワリーはラーメン屋さんのわりばし。だけど誰にも使ってもらえなくて、とうとうラーメン屋さんを飛び出しました。



「ぐるんぱの  
ようちえん」

西内ミナミ／作  
堀内誠一／絵  
福音館書店  
(Eホリウ)

大きなゾウのぐるんぱはいつもひとりぼっち。いろんな仕事で一生懸命働きますが失敗ばかりで長く続きません。



「だるまちゃんと  
てんぐちゃん」

加古里子／作・絵  
福音館書店  
(Eカコ)

だるまちゃんはてんぐちゃんのうちわやぼうしがうらやましい。お父さんがアレコレ出してくれるのですが…。



「どうぞのいす」

香山美子／作  
柿本幸造／絵  
ひさかたチャイルド  
(Eカキモ)

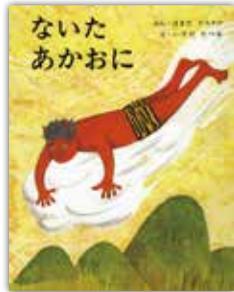
うさぎさんが椅子を作りました。かごにどんぐりを集めたらばさんが通りかかりお昼寝。そこへくまさんがやって来て…。



「ともだちや」

内田麟太郎／作  
降矢なな／絵  
偕成社  
(Eフリヤ)

「ともだちや」を始めたキツネ。ともだち1時間100円。お金をもらおうとすると突然オオカミが怒り出して…。



「ないたあかおに」

浜田廣介／文  
池田龍雄／絵  
偕成社  
(Eイケダ)

人間と仲良くなりたい赤鬼のために、友達の青鬼はある作戦をたてました。作戦は成功しましたが…。



「けんかのきもち」

柴田愛子／文  
伊藤秀男／絵  
ポプラ社  
(Eイトウ)

友達のこうたとケンカをした主人公のたい。ケンカを通して心の葛藤や気持ちの変化に向き合うお話。



「わたし」

谷川俊太郎／文  
長新太／絵  
福音館書店  
(Eチヨウ)

「わたし」は山口みち子5歳。お母さんから見ると「娘」。おにいちゃんから見ると「妹」。じゃあ犬から見ると…？



「どんなかんじかなあ」

中山千夏／文  
和田誠／絵  
自由国民社  
(Eワダ)

目が見えないまりちゃん、耳が聞こえないさのくん…。自分と違うってどんな感じ？想像すると世界が広がります。



「さっちゃんのまほうのて」

たばたせいいち  
先天性四肢障害児父母の会  
野辺明子 しざわさよこ  
／共同制作  
偕成社  
(Eタバタ)

おままごとでお母さん役をやりたかったさっちゃん。でも「手のないおかあさんなんてへん」と言われてしまい…。



「おおきくなるっていうことは」

中川ひろたか／文  
村上康成／絵  
童心社  
(Eムラカ)

おおきくなるってどういうこと？背が伸びるだけじゃない、成長の喜びについて、大人も一緒に考えたい絵本。



「うみとりくのからだのはなし」

遠見才希子／作  
佐々木一澄／絵  
童心社  
(36.7/エ)

双子のうみとりくは、そっくりだけど全然ちがう。そんなふたりと一緒に自分の体を大切にすることを考える絵本。



「みんなみんなすてきなからだ」

タイラー・フェーダー／作  
すぎもとえみ／訳  
汐文社  
(Eフエダ)

様々な体を持つ人たちが登場。自分の体に自信を持ち、それぞれの体の違いを認め合うことの大切さを伝える絵本。



「わすれられない  
おくりもの」

スーザン・バーレイ  
／作・絵  
小川仁央／訳  
評論社  
(Eバレイ)

年をとったアナグマは、自分の死が近いことを知っていました。彼が友達に残したもののとは…。



「100万回  
生きたねこ」

佐野洋子／作・絵  
講談社  
(Eサノ)

ねこは100万回も生きて様々な飼い主に愛されました。でも飼い主を愛したことはたったの一度もありませんでした。



「ずーと ずっと  
だいすきだよ」

ハンス・ウィルヘルム  
／作・絵  
久山太市／訳  
評論社  
(Eウイル)

「ぼく」と犬のエルフィー。一緒に成長していくのですが、エルフィーの方が早く歳をとっていきました。



「このあと  
どうしちゃう」

ヨシタケシンスケ／作  
ブロンズ新社  
(Eヨシタ)

おじいちゃんが亡くなった。掃除をしていたら見つかったおじいちゃんのノート。そこに書かれていたのは…。



「クジラがしんだら」

江口絵理／文  
かわさきしゅんいち／絵  
藤原義弘／監修  
童心社  
(48.1／E)

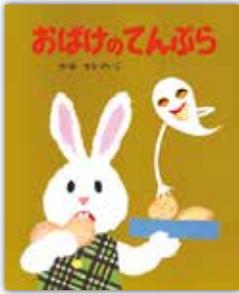
大きなクジラが死んで、深海に沈みました。死んだクジラの体には、様々な生き物が集まってきます。



「しんでくれた」

谷川俊太郎／詩  
塚本やすし／絵  
佼成出版社  
(Eツカモ)

人間は他の生きものの命を頂いて生きています。命への感謝や生きていることの喜びを伝える絵本。



「おぼけの  
てんぷら」

せなけいこ/作・絵  
ポプラ社  
(Eセナ)

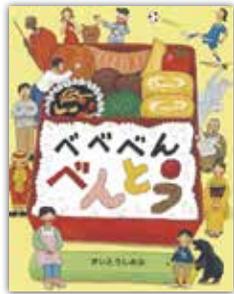
食べることが大好きなうさこ。てんぷらを揚げてみると、いい匂いに誘われておぼけがやってきました。



「からすの  
パンやさん」

かこさとし/作・絵  
偕成社  
(Eカコ)

家族みんなでパンをつくるからすのパン屋さん。やがてお店は評判になり、みんなが買いにやって来ることに。



「ベベベン  
べんとう」

さいとうしのぶ  
/作・絵  
教育画劇  
(Eサイト)

普段のお弁当から、運動会や遠足、ちょっと変わったユニーク弁当まで、様々なお弁当が登場します。



「きょうのごはん」

加藤休ミ/作  
偕成社  
(Eカトウ)

夕方、どこの家からもいい匂いがしてきます。みんな何を食べるのかな？猫と一緒に食卓をのぞいてみましょう。



「おにぎりを  
つくる」

高山なおみ/文  
長野陽一/写真  
プロンズ新社  
(Eナガノ)

用意するのは、お米とお塩とお水だけ。簡単、シンプル。おいしそう。作りたくなくること間違いなしです。



「あげる」

はらぺこめがね  
/作・絵  
佼成出版社  
(Eハラペ)

ページをめくるたび、揚げたてアツアツの食べ物が迫力満点に登場。おいしい音があふれて食欲をそそります。



「せいめいのれきし」  
改訂版

バージニア・リー・  
バートン／文・絵  
いしいももこ／訳  
まなべまこと／監修  
岩波書店  
(45 /バ)

地球が誕生してから、今この瞬間まで続く壮大な命の物語。



「しでむし」

館野鴻／作・絵  
偕成社  
(Eタテ)

死んだ動物の体を食べて卵を産み、死体と共に生きる小さな虫の一生が、美しい線で描かれています。



「ふしぎな鳥の巣」

鈴木まもる／作・絵  
偕成社  
(48. 8 /ス)

卵やヒナを守るために、様々な工夫をこらして作られた鳥の巣を紹介。自然の不思議を感じる絵本。



「ぼく、  
だんごむし」

得田之久／文  
たかはしきよし／絵  
福音館書店  
(48. 3 /ト)

ダンゴムシは昆虫じゃない？身近だけどあまり知られていない、彼らの暮らしを教えてくださいの絵本。



「うかぶかな？  
しずむかな？」

川村康文／文  
遠藤宏／写真  
岩崎書店  
(42. 3 /カ)

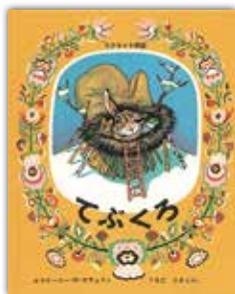
浮かぶか沈むか、考えながら読んでみてください。予想が外れても面白い。科学の不思議を楽しく学べる絵本。



「森のいのち」

小寺卓矢／写真・文  
アリス館  
(Eコデラ)

舞台は北海道の森。ページをひらけば、まるで森の中にいるかのよう。耳をすませて、いのちの音を感じてみましょう。



「てぶくろ」

エウゲーニー・M  
・ラチョフ／絵  
うちだりさこ／訳  
福音館書店  
(E38. 8/テ)

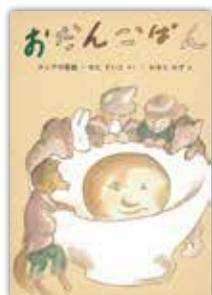
雪の中、落ちていた手袋の中に次々に動物たちが入ってきて…。手袋の中はもういっぱい。ウクライナ民話。



「三びきのやぎの  
がらがらどん」

マーシャ・ブラウン／絵  
せたていじ／訳  
福音館書店  
(E38. 8/サ)

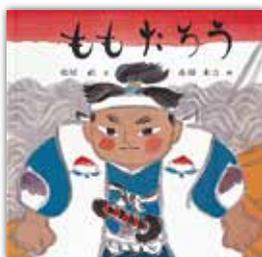
三匹のヤギ。名前ががらがらどん。山へ草を食べにいく途中、橋の下には大きなトロールがいて…。ノルウェーの昔話。



「おだんごばん」

せたていじ／訳  
わきたかず／絵  
福音館書店  
(E38. 8/オ)

おばあさんがつくったおだんごばんが、ころころ転がって家から飛び出しました。ロシアの昔話。



「ももたろう」

松居直／文  
赤羽末吉／画  
福音館書店  
(E38. 8/モ)

おばあさんが川で洗濯をしていると、大きな桃が流れてきて…。水彩画の力強くも優しい挿絵で味わえる、桃太郎絵本。



「かにむかし」

木下順二／文  
清水崑／絵  
岩波書店  
(E38. 8/サ)

おなじみの昔ばなし「さるかにがっせん」をリズムカルな再話とのびやかな挿絵で楽しめます。



「カムイチカプ」

手島圭三郎／絵  
藤村久和／文  
絵本塾出版  
(E38. 8/カ)

村の平和を見守るシマフクロウの神。そこに若いシャチの群れがやって来ました。アイヌに伝わる神さまのお話。



「ちいさいおうち」

バージニア・リー・  
バートン／文・絵  
石井桃子／訳  
岩波書店  
(Eバトン)

「ちいさいおうち」は自然豊かな場所で静かに暮らしていました。でもやがてそこには道路や高層ビルが出来ていき…。



「ラチとらいおん」

マレーク・ペロニカ  
／文・絵  
とくながやすもと／訳  
福音館書店  
(Eマレク)

ラチは弱虫な男の子。ある日、目覚めるとそこには小さなライオンが。この出会いでラチは変わりはじめます。



「これは  
のみのびこ」

谷川俊太郎／作  
和田誠／絵  
サンリード  
(Eワダ)

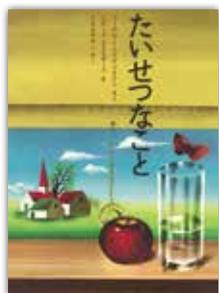
ページをめくるたび、言葉がどんどん積み重なって…。声に出して読みたい絵本。つかえずに読めるかな？



「どろんこハリー」

ジーン・ジョン／文  
マーガレット・ブロー  
グレアム／絵  
わたなべしげお／訳  
福音館書店  
(Eグレア)

犬のハリーはお風呂が大嫌い。ある日、お湯を入れる音がして、ブラシをくわえて逃げ出しました。ハリーが帰ると…。



「たいせつなこと」

マーガレット・ワイズ・  
ブラウン／作  
レナード・  
ワイズガード／絵  
うちだやこ／訳  
フレーベル館  
(Eワイズ)

大切なことはそれぞれ違う。あなたにとって大切なことは…？やさしく詩的な言葉で語りかけてくれます。



「あさになったので  
まどをあけますよ」

荒井良二／作・絵  
偕成社  
(Eアライ)

子どもたちが窓を開け、新しい一日を迎えます。何気ない日々の繰り返し。それは生きる喜び。震災後に作られた絵本。

◆参考資料 こちらの本も貸出できます

- ・「これだけは読んでおきたいすてきな絵本100」  
木村美幸／著 風鳴舎 (019.53／キ)
- ・「読みたい絵本」  
momo編集部／著 マイルスタッフ (019.53／モ)
- ・「子どもと読みたい絵本200」  
洋泉社 (019.53／コ)
- ・「クリエイターおすすめの絵本650冊」  
玄光社 (019.53／ク)
- ・「子どもと一緒に読みたい絵本」  
玄光社 (01.9／コ)
- ・「豊かな心をはぐくむ 0～7才 こども絵本ガイド」  
さわださちこ／絵本セレクト なかじまერიこ／構成・文  
主婦の友社／編 主婦の友社 (019.53／ナ)

## 帯広市図書館

◆利用案内

貸出冊数／本・雑誌などは10冊 CD・DVDなどは3点

貸出期間／2週間

延長／1回のみ手続きした日から14日間

(予約がない場合のみで、インターネット・電話などで手続き可能)

◆利用者カードを作るには

「利用登録申込書」に記入し、カードを作る方の氏名・住所・生年月日が確認できるマイナンバーカード・免許証などと一緒に図書館1階カウンターまでお持ちください。お子さまのカードもお作りできます。

◆開館時間／火～金曜日 10：00～20：00

土・日・祝日 10：00～18：00

◆休館日／毎週月曜日(月曜日が祝日の場合はその翌日)

その他の休みはホームページ等で確認してください。



## 帯広市図書館の情報をチェック！

帯広市図書館

080-0012

帯広市西2条南14丁目

TEL0155-22-4700

MAIL:tosyo@lib-obihiro.jp



図書館HP



図書館X